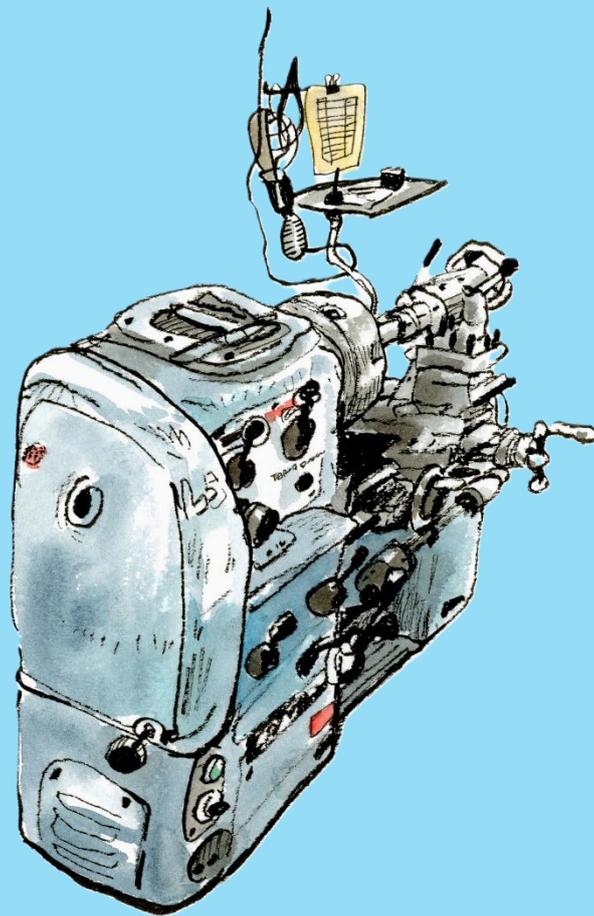


# 5. 付 録



## 5.1 センター沿革

平成18年 1月26日	ものづくり基盤センター	設置
平成18年 5月～9月	(暫定サテライト工房 運用)	
平成18年 7月～9月	ものづくり基盤センター	改修工事
平成18年10月26日	ものづくり基盤センター	看板披露式
平成18年10月27日	ものづくり基盤センター	開設式典
平成18年11月～	ものづくり基盤センター	本格運用
平成19年 4月～	cremo 工房 併設	
平成22年 3月～	教育・研究1号館C棟間渡り廊下	併設

## スタッフミーティング

第1回	2022年 4月 21日(木)～27日(水)
第2回	2022年 5月 23日(月)～27日(金)
第3回	2022年 6月 21日(火)～24日(金)
第4回	2022年 7月 26日(火)～29日(金)
第5回	2022年 8月 25日(木)～30日(火)
第6回	2022年 9月 21日(水)～27日(火)
第7回	2022年 10月 21日(金)～27日(木)
第8回	2022年 11月 22日(火)～28日(月)
第9回	2022年 12月 19日(月)～23日(金)
第10回	2023年 1月 23日(月)～26日(木)
第11回	2023年 2月 22日(水)～27日(月)
第12回	2023年 3月 22日(水)～27日(月)

## 5.2 センター関係規則

### ものづくり基盤センター運営に関する内規

平成18年4月22日  
ものづくり基盤センター長伺定

(目的)

第1条 この内規は、室蘭工業大学センター長等に関する規則（平成17年度室工大規則第44号）第5条に定めるものづくり基盤センター長の職務を円滑に遂行するため、ものづくり基盤センター（以下、「センター」という）の運営に関し必要な事項を定める。

(センター会議)

第2条 センターに、次に掲げる事項を検討するため、センター会議を置く。

- (1) センターの管理運営に関する事項
- (2) センターの予算・決算に関する事項
- (3) センターの事業計画に関する事項
- (4) センターの評価に関する事項
- (5) センターの広報に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要となる事項

(組織)

第3条 センター会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 部門責任者
- (3) 各部門構成員のうちセンター長が指名する教員
- (4) センター長が指名する技術職員
- (5) 学生課長
- (6) 地域連携推進課長
- (7) その他センター長が必要と認める職員

(議長)

第4条 センター長は、センター会議を招集し、その議長となる。

2 センター長に事故があるときは、センター長の指名した構成員が前項の職務を代行する。

(構成員以外の者の出席)

第5条 センター長が必要と認めるときは、構成員以外の者を会議に出席させ、意見を聴取することができる。

(専門部会)

第6条 センターに、専門の事項を調査検討するための専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(企画調整室)

第7条 センターに、次に掲げる事項を処理するため企画調整室を置く。

- (1) 第2条で掲げた事項の原案の作成に関する事項
- (2) センターの事業の実施に関する事項
- (3) センターの庶務に関する事項
- (4) センターの会計に関する事項
- (5) その他センター長が必要と認める事項

(企画調整室の組織)

第8条 企画調整室は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 部門責任者
- (2) センター長が指名する職員

(事務)

第9条 センターに関する事務は、学生課及び地域連携推進課の協力を得て、企画調整室で処理する。

附 則

(施行期日)

1 この内規は、平成18年4月1日から施行する。

## 室蘭工業大学ものづくり基盤センター規則

平成18年1月26日  
室工大規則第30号

(趣旨)

第1条 この規則は、室蘭工業大学ものづくり基盤センター（以下「センター」という。）の組織及び業務等に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、実践的な教育への支援と学生の自発的な学習活動に対する支援を通して、創造性豊かな人材を育成するとともに、先端加工技術の研究・開発を推進し、ものづくりを通して地域との連携に貢献することを目的とする。

(職員)

第3条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) 技術職員

2 センター長は、センターの業務を統括する。

3 センター長に関し必要な事項は、別に定める。

4 専任教員及び技術職員は、センター長の命を受けてセンターの業務に従事する。

(構成)

第4条 センターは、次に掲げる3つの部門で構成する。

- (1) 教育・学習支援部門
- (2) ものづくり基盤技術研究部門
- (3) 地域連携部門

(各部門の業務)

第5条 前条に掲げる各部門は、全学の協力を得てそれぞれ次の業務を行う。

- (1) 教育・学習支援部門

- ① ものづくりに関連する実践的教育の支援に関する事
- ② 学生のものづくりに係る課外活動の支援に関する事
- ③ ED教育の支援に関する事
- ④ その他教育・学習の支援に関する事

- (2) ものづくり基盤技術研究部門

- ① 高度な精密加工・特殊加工技術の研究推進に関する事
- ② 学内の多岐に亘る教育・研究活動への支援に関する事
- ③ ITベースのものづくり支援体制の整備に関する事
- ④ 学内サテライトと協同で行う研究支援に関する事
- ⑤ その他ものづくり基盤技術の研究に関する事

- (3) 地域連携部門

- ① 学外サテライトにおける実践的教育プログラムの企画・立案に関する事
- ② 地域青少年の育成事業の推進に関する事
- ③ 地域企業との協働によるものづくり基盤技術の向上に関する事
- ④ その他地域との連携に関する事

(部門責任者)

第6条 第4条に掲げる各部門に、それぞれ部門責任者を置く。

2 部門責任者は、センター長の推薦に基づき、学長が任命する。

(連絡会議)

第7条 センターに、各部門間の連絡・調整を図るため、ものづくり基盤センター連絡会議（以下「連絡会議」という。）を置く。

2 連絡会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 部門責任者
- (3) センターの職員の中からセンター長が必要と認めた者

3 前項の連絡会議には、必要に応じセンターの職員以外の者を加えることができる。

(学長への報告)

第8条 センター長は、センターにおける活動状況を把握するとともに、毎事業年度終了後、活動報告書を作成し、学長に提出するものとする。

(支援職員)

第9条 センターに、センターにおける業務を支援するため、職員を置くことができる。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、学務課及び総務広報課の協力を得てセンターで処理する。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この規則は、平成18年1月26日から施行する。

(委員の任期の特例)

第2条 この規則施行後、最初の運営委員会委員の任期は、第13条の規定に関わらず平成19年3月31日までとする。

附 則 (平成17年度室工大規則第56号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年度室工大規則第97号)

この規則は、平成28年7月1日から施行する。

## 5.3 主な活動記録

### 利用統計

令和4年度のセンターの利用者数を以下に表形式で報告する。

表1は令和4年度の利用者のべ人数である。参考のため令和3年度及び令和2年度のものも示しておく。

表 1 令和4年度の利用者のべ人数

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
授業利用	690	385	67
センター自主利用	1,359	853	1,025
cremo 主催行事利用	204	92	88
学外利用者（地域連携部門）	363	65	105
合計	2,616	1,395	1,285

令和4年度の利用者総数は2,616名となり、新型コロナウイルス感染予防の影響が続いていた昨年度から1,221名の利用増と、増加傾向ではあるがコロナ前と比べるとおよそ半数程度である。内訳をみると授業利用が3学科3教科で利用されており、機械ロボット工学コースの工作法実習が通常の体制となり、建築土木工学コースの設計製作演習、物質化学コースの環境プロセス工学特論が受講人数に制限はあったが305名増となっている。

学生や教職員が独自に加工を行うセンター自主利用が506名増となり、各種活動の制限が緩和されたことが読み取れ、授業関連の利用が136名増、研究利用が123名増、サークル利用が57名増、設備利用が155名増となっている。

安全講習会は昨年度と同様に1回の受講人数を制限し、事前予約制にて開催した。室内の換気等に十分に注意を払いながら24回、156名の受講があった。

各種工作機械の講習会は通常よりも定員を縮小して行い、旋盤は5回開催し、17名の受講があり、NCプログラミング、マシニングセンタおよびプリント基板加工機は1回ずつ開催し、それぞれ3名の受講があった。

cremo crew の主催によるものづくり教室は5回開催し、22名の参加があった。

学外の小・中学生、高校生を招いて行うものづくり体験学習等は14回開催し、学外利用者は298名増である。

月ごとの自主利用者のべ人数を表2に示す。学外の利用は小規模の見学者によるものである。夏休みや春休みの利用者が比較的多く、コンテスト出場チームやサークルによる利用と思われる。

自主利用者のべ人数をコース等別に集計したのが表3である。スチールブリッジコンペティションが再開されたことから建築土木工学コースの利用が大幅に増えている。航空宇宙工学コースの利用も多いが、主に設計法の授業による利用と考えられる。活動の制限が緩和されたことから、サークルによる利用も増えている。

表2 自主利用者のべ人数

	教員	技術職員	学生	学外	合計
4月	1	0	75	0	76
5月	2	1	91	0	94
6月	3	4	128	2	137
7月	4	5	240	0	249
8月	0	0	145	1	146
9月	8	2	109	0	119
10月	2	0	124	0	126
11月	3	2	106	0	111
12月	2	2	87	0	91
1月	1	1	83	0	85
2月	3	1	70	0	74
3月	1	0	47	3	51
合計	30	18	1305	6	1359

表3 コース等別自主利用者のべ人数

学科・課・センター等	のべ人数
建築土木工学コース	233
機械ロボット工学コース	153
航空宇宙工学コース	254
電気電子工学コース	8
化学生物システムコース	2
数理情報システムコース	2
環境創生工学系専攻	27
生産システム工学系専攻	309
情報電子工学系専攻	4
希土類材料研究センター	2
ロボットアリーナ	11
技術部	19
学外	5
サークル等	330

表4に自主加工に利用された設備と利用件数を示す。例年どおりにレーザー彫刻機の利用が最も多く、主に製作系の授業、鳥人間部等のサークル活動による利用と推測できる。工具類の利用が多いのはサークル活動による利用である。

表4 自主加工で利用された設備および件数

設備名	件数	設備名	件数
レーザー彫刻機	285	高速精密切断機	102
工具類	93	ボール盤	75
丸のこ盤	59	平面研削盤	52
帯のこ盤	47	コンターマシン	42
フライス盤	21	マシニングセンタ	18
パーツコーナー	17	旋盤	11
NC旋盤	9	プリント基板作成システム	8
両頭グラインダ	7	サンダー	4
糸のこ盤	2	ドリル研磨機	1
足踏み切断機	1	サンドブラスト	1
折り曲げ機	1		

## 学内向け技術講習会

ものづくり基盤センター内にある設備を利用する際には必ず安全講習会を受講し、更に旋盤やフライス盤等の危険を伴う工作機械、特別な知識の必要な機械の使用については、それぞれの工作機械に向けた技術講習会を受講しなければならない。また、レーザー彫刻機やコンターマシン等の比較的取り扱いが容易な設備については使用時に都度、取扱説明を行っている。

令和4年度の技術講習会については通常より定員を制限して行い、安全講習会についても1回の受講者数を制限し、事前申込制により実施した。

講習会名	開催日	場 所	定 員	受講者数
第1回旋盤講習会	2022年10月27日	機械加工実習室	4名	4名
第2回旋盤講習会	2022年11月17日	機械加工実習室	4名	3名
第3回旋盤講習会	2022年11月18日	機械加工実習室	4名	4名
第4回旋盤講習会	2022年11月30日	機械加工実習室	4名	3名
第5回旋盤講習会	2023年3月17日	機械加工実習室	4名	3名
第1回プログラミング講習会	2022年 6月29日	セミナー実習室	4名	3名
第1回マシニングセンタ講習会	2022年 7月6日	機械加工実習室	4名	3名
第1回プリント基板講習会	2023年 2月20日	2階実習室	4名	3名
第1回安全講習会	2022年 4月21日	セミナー実習室	11名	11名
第2回安全講習会	2022年 4月23日	セミナー実習室	11名	11名
第3回安全講習会	2022年 4月26日	セミナー実習室	11名	11名
第4回安全講習会	2022年 4月27日	セミナー実習室	11名	10名
第5回安全講習会	2022年 5月10日	セミナー実習室	11名	1名
第6回安全講習会	2022年 5月13日	セミナー実習室	11名	11名
第7回安全講習会	2022年 5月18日	セミナー実習室	11名	11名
第8回安全講習会	2022年 5月26日	セミナー実習室	11名	10名
第9回安全講習会	2022年 5月28日	セミナー実習室	11名	6名
第10回安全講習会	2022年 6月10日	セミナー実習室	11名	9名
第11回安全講習会	2022年 6月18日	セミナー実習室	11名	10名
第12回安全講習会	2022年 6月21日	セミナー実習室	11名	11名
第13回安全講習会	2022年 6月22日	セミナー実習室	11名	9名
第14回安全講習会	2022年 7月7日	セミナー実習室	11名	5名
第15回安全講習会	2022年 7月9日	セミナー実習室	11名	4名
第16回安全講習会	2022年 7月13日	セミナー実習室	11名	4名
第17回安全講習会	2022年 9月16日	セミナー実習室	11名	3名
第18回安全講習会	2022年 9月28日	セミナー実習室	11名	3名
第19回安全講習会	2022年 10月5日	セミナー実習室	11名	1名
第20回安全講習会	2022年 10月17日	セミナー実習室	11名	1名
第21回安全講習会	2022年 10月22日	セミナー実習室	11名	2名
第22回安全講習会	2022年 11月11日	セミナー実習室	11名	7名
第23回安全講習会	2022年 11月16日	セミナー実習室	11名	4名
第24回安全講習会	2022年 12月16日	セミナー実習室	11名	1名

表 主な地域連携事業  
令和4年度 ものづくり基盤センター・地域貢献部門（ものづくり教育関係）：学内

日程	学校・団体名	内 容	参加人数
令和4年 7月20日（水）	北海道札幌工業高等学校	鋳造体験	11
令和4年 8月 6日（土）	室蘭工業大学オープンキャンパス	見学（六ヶ所高校）	9
令和4年 9月16日（金）	室蘭市立みなと小学校4年1組	ものづくり教室（キーホルダー作り）	32
令和4年 9月20日（火）	室蘭市立みなと小学校4年2組	ものづくり教室（キーホルダー作り）	29
令和4年 9月21日（水）	室蘭市立みなと小学校4年3組	ものづくり教室（キーホルダー作り）	29
令和4年 9月22日（木）	室蘭市立天神小学校6年1組（午前）	ものづくり教室（キーホルダー作り）	37
〃	室蘭市立天神小学校6年2組（午後）	ものづくり教室（キーホルダー作り）	37
令和4年10月19日（水）	学内 職員見学	見学（人事企画係）	6
令和4年10月21日（金）	宮崎国際大学	鋳造体験（カントリーサイン）	8
令和4年10月24日（月）	室蘭市立天神小学校5年1組（午前）	ものづくり教室（キーホルダー作り）	36
〃	室蘭市立天神小学校5年2組（午後）	ものづくり教室（キーホルダー作り）	33
令和4年10月31日（月）	室蘭市立天神小学校3年1組	ものづくり教室（キーホルダー作り）	26
令和4年11月 1日（火）	室蘭市立天神小学校3年2組	ものづくり教室（キーホルダー作り）	27
令和4年11月10日（木）	室蘭市立喜門岱小学校4年	ものづくり教室（キーホルダー作り）	4
令和4年11月16日（水）	室蘭市立白蘭小学校6年	ものづくり教室（キーホルダー作り）	31
令和4年11月28日（月）	北海道登別明日中等教育学校4回生	インターンシップ（鋳造体験・カントリーサイン）	3
小 計			358

令和4年度 ものづくり基盤センター・地域貢献部門（ものづくり教育関係）：学外

日程	学校・団体名	内 容	参加人数
令和4年6月14日（火）	札幌 新川高等学校	講演	320
令和4年6月15日（水）	大樹町 大樹高校(1年25名・2年22名)	出前講義	47
令和4年7月2日（土）	インフォメーションキャラバンin帯広	出前教室（キーホルダー作り）	15
令和4年7月3日（日）	インフォメーションキャラバンin帯広	出前講義	30
令和4年7月13日（水）	札幌 厚別高校(会場:ホテルエミシア札幌)	出前講義	10
令和4年7月20日（水）	北海道札幌工業高等学校(2学年)	出前講義	300
令和4年9月12日（月）	大樹町 大樹小学校(5・6年生)	ものづくり教室（カントリーサイン）	60
令和4年9月13日（火）	大樹町 大樹高校	出前講義	60
令和4年9月14日（水）	大樹町 教育委員会	教職員研修	60
令和4年10月27~28日(木・金)	鹿児島県立与論高校	出前講義	160
令和4年11月1日（火）	室蘭栄高等学校(1年)	出前講義	240
令和4年11月11日（金）	松江工業高等専門学校	出前講義	200
令和4年12月1日（木）	青山学院大学	出前講義	150
令和4年12月9日（金）	北海道札幌工業高等学校	キュボラ実習10名・職員向け講演会50名	60
令和4年12月15日（木）	青森県立六ヶ所高等学校(1学年)	リモート講義（40名・教員3名）	43
令和4年12月19日（月）	北海道大樹高等学校	出前講義	50
令和5年1月12日（木）	北海道高等学校教育研究会工業部会	パネルディスカッション（札幌琴似工業高等学校）	100
令和5年1月20日（金）	藻岩高等学校	出前講義(グローバル概論 1回目25人・2回目20人)	45
令和5年3月16日（木）	佐呂間高等学校	出前講義	50
小 計			2000
令和4年12月10日（土）	第30回テクノカフェ ものづくりトーク 「日本のものづくりと宇宙開発の未来」	室蘭工業大学 教授 清水 一道 インターテックノロジス(株) 代表取締役社長 稲川 貴大氏	60
令和5年3月25日（土）	第31回テクノカフェ ものづくりトーク 「ロビンマスクの製造方法と秘密」	室蘭工業大学 教授 清水 一道 株式会社キャステム 取締役常務執行役員 戸田 有紀氏	35
合 計			2453